

BETWEEN関数

指定された値が範囲内にあるかどうかを論理値で返す

◇機能

指定された値が範囲内にあるかどうかを示す論理値を返します。値が最小値以上かつ最大値以下である場合は、T (True) を返します。そうでない場合は F (False) を返します。

◇構文

BETWEEN(値,最小値,最大値)

	引数	入力内容
1	検査対象値	対象となるフィールド（文字型、数値型、日付時刻型）またはリテラル値、式を指定します。ただし、「検査対象値」「範囲の最小値」「範囲の最大値」に指定する値のデータ型は同一であることが必要です。
2	範囲の最小値	範囲の最小値を指定します。リテラル値、式、フィールドが使用できます。
3	範囲の最大値	範囲の最大値を指定します。リテラル値、式、フィールドが使用できます。

BETWEEN
— □ ×

BETWEEN (検査対象値, 範囲の最小値, 範囲の最大値)

検査対象値

範囲検査の対象とする値またはフィールドを指定します。

範囲の最小値

範囲の最小値を指定します。

範囲の最大値

範囲の最大値を指定します。

検査対象とする値またはフィールドが範囲内にあるかどうかを検査します。
 検査対象値が最小値以上かつ最大値以下である場合は、T (true)、そうでない場合は F (false) を返します。
 ●各パラメータのデータ型は数値型または日付時刻型のみであり、全て同一のデータ型にしてください。
 ●各パラメータには、フィールド名や式、リテラル値（数値型・日付時刻型）を指定できます。

OK

キャンセル

◇戻り値のデータ型

論理型 (True/False)

◇使用例

フィルターやIF条件で使用すると、T (True) のレコードを抽出できます。

例	式
「金額」フィールド（数値型）の値が100～500（100以上かつ500以下）の範囲内であるかを調べる	BETWEEN([金額], 100, 500)
「取引日」フィールド（日付時刻型）の値が2023年の日付であるかを調べる	BETWEEN([取引日], `20230101`, `20231231`)
「社員番号」フィールド（もじがた）の値が500番台であるかを調べる	BETWEEN([社員番号], "500", "599")